



2014年11月7日

各 位

会 社 名 株式会社 や ま や
 代表者の役職名 代表取締役社長 山内英靖
 (コード番号 9994 東証第一部)
 問い合わせ先 社長室長 高橋徹郎
 T E L (022) 742-3115

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2014年5月13日の決算発表時に公表しました2015年3月期の業績予想について、下記の通り修正いたします。

記

1. 2015年3月期第2四半期(累計)の連結業績予想の修正(2014年4月1日～2014年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	84,000	2,600	2,600	900	83円00銭
今回修正(B)	79,440	2,137	2,109	539	49円74銭
増減額(B-A)	△4,559	△462	△490	△360	
増減率(%)	△5.4	△17.8	△18.9	△40.1	
(ご参考) 前期第2四半期実績	61,507	1,404	1,470	902	83円25銭

2. 2015年3月期の連結業績予想の修正(2014年4月1日～2015年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想(A)	172,000	7,000	7,000	2,500	230円57銭
今回修正(B)	167,000	6,000	6,000	2,000	184円45銭
増減額(B-A)	△5,000	△1,000	△1,000	△500	
増減率(%)	△2.9	△14.3	△14.3	△20.0	
(ご参考)前期実績	135,658	4,200	4,285	2,315	213円56銭

3. 修正の理由

消費税率引き上げ前の駆け込み需要による反動減の長期化や増税後の実質所得の減少、夏季の天候不順などが酒類購買意欲の減退を誘引し、さらに消費者嗜好の変化などにより、酒販事業セグメントの夏季商品群の売上が大きく減少しました。また、円安基調による輸入品原価の上昇、エネルギーコストの上昇による光熱費の増加、新規出店に伴う設備投資償却額の増加などが、原価・経費両面で利益水準を圧迫することとなり、中間期の売上高は期初計画の94.6%、当期純利益は、期初計画の59.9%となりました。これにより、当中間期業績予想を上記のとおり修正いたします。

下期につきましては、清酒、焼酎、ワインなど専門的な酒類の販売強化による粗利率の改善と、売場変更・改装による既存店の活性化・消費者嗜好の変化に応じた品揃えに取り組み、客数の維持、増加を図る一方、諸経費の抑制を図り、通期業績の最大化に努めてまいります。

通期の業績予想につきましては、中間期の業績並びに下期の業績予想を踏まえ、上記のとおり修正いたしました。

* 上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上